

よ読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山県久米南町の農家らでつくるJA晴れの国岡山久米南キュウリ部会が、特産品のキュウリのマーケティング強化に乗り出しました。記事を読んで質問に答えましょう。

Q1

キュウリをモチーフにしたキャラクターを考えてみよう。

てい がく ねん
低学年も
チャレンジ!

Q2

久米南キュウリ部会がブランド化を図っている特産品のキュウリは何と名付けられたでしょう。

Q3

久米南キュウリ部会では、3年ほど前から瀬戸内海のカキ殻を土壌改良材に活用しています。利点として挙げられていないものを一つ選びましょう。

- ① ミネラルが豊富に含まれる
- ② 作った野菜がカキの味になる
- ③ 微生物が増殖しやすい多孔質構造によって根張りが良くなる

特産キュウリブランド化

JA晴れの国岡山久米南部会 新キャラも考案



買い物客に「里海きゅうり水輝」をアピールする生産者ら＝7月28日、岡山市

久米南キュウリ部会が考案したイメージキャラクター「みずきん」



岡山県久米南町の農家らでつくるJA晴れの国岡山久米南キュウリ部会が、マーケティングの強化に乗り出した。特産品を「里海きゅうり水輝」と名付けてブランド化を図るほか、イメージキャラクターやSNS（交流サイト）を活用して認知度アップに努めている。同部会では51戸が計5・4畝で育て、2025年の出荷量は約530トと県内産の6割超を占める。3年ほど前から瀬戸内海のカキ殻を土壌改良材に活用。カキ殻にはミネラルが豊富に含まれるほか、微生物が増殖しやすい多孔質構造によって根張りが良くなる利点があるという。

こうした栽培でのこだわりが消費者に十分伝わっていなかったため、みずきん、歯応えがあるという特徴を踏まえ、ブランド名を付けた。併せて、デザイン専門学校で学んだ経験を持つ役員が、キュウリをモチーフにしたキャラクター「みずきん」を考案。今後、出荷箱に印刷したり、無料通信アプリ・LINE用のスタンプを作ったりして周知を図っていく。

長らく休止していた写真共有アプリ・インスタグラムの公式アカウントもリニューアル。5月には、役員が「インスタ映え」しやすい写真の撮り方などを講習会で学んだ。7月は岡山市内のスーパーに特設コーナーを構え、部会のメンバーらが鮮度抜群のキュウ리를買い物客にアピールした。杉本隆志部会長は「産地維持のためにもあらゆる機会を通じてPRを強化し、生産者を増やしたい」と話す。（岡崎創史）

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。

2026年8月20日付、地方経済面
レイアウトを変更しました